

上毛町文化協会作品部の紹介

和紙のちぎり絵は、色調や紙のすき方が異なる和紙を手でちぎり、絵にした作品です。できあがった作品を眺める時の気持ちは充実感でいっぱいになります。どのような作品にしようかと考える時、日常の何気ない景色でも、違った角度から見ることによって新たな発見があると楽しいのではないのでしょうか。

現在、時間を見つけて作品を製作していますが、皆さんと一緒にちぎり絵を作ることができたらいいなあと思っています。興味のある方は、一緒に作品を作ってみませんか。

※日時、場所などは、相談しながら考えていきたいと思っています。

●問い合わせ先 久留島 良子さん TEL 24-1278



和紙ちぎり絵

西吉富小学校稲刈り・脱穀体験

10月31日(金)に西吉富小学校5年生が、地域づくり活動団体の「おーいげんき会」の皆さんとJA福岡京築東アグリセンターの皆さんに指導を受けながら、脱穀体験をしました。

10月3日(金)に子どもたちが一株、一株、丁寧に刈り、天日干しにしたうるち米の「ゆめつくし」を、足踏み脱穀機を使って脱穀しました。

足踏み脱穀機は、足で踏みながら同時に手を動かして稲を脱穀していきます。はじめは、手と足のリズムがつかめず、四苦八苦しているようでしたが、数回するうちに手際よく作業を進めることができました。

子どもたちは、昔の農機具に触れ、農家の人々の米づくりの工夫と苦労を感じることができたようでした。



友枝小学校稲刈り体験

友枝小学校5年生は、JA福岡京築東アグリセンターの皆さんと水田を提供してくださった大山晃さん(東下)の指導を受けながら、「米作り」に取り組んできました。6月に田植えをした緑の苗は成長し、金色に色づき、10月16日(木)に稲刈りをしました。昨年、体験できなかった6年生も5年生と一緒にヒヨクモチを刈り取りました。コンバインを提供してくださった栗田利見さん(東下)ご夫妻、大山さんご夫妻のご協力もあり無事に脱穀も終わることができました。

子どもたちは鎌を初めて手にして、慣れない手つきで稲刈りをしました。刈った稲を両腕に抱いて、コンバインの所まで運び、脱穀の様子を見ることができました。

「米作り」体験を通して、農家の人たちの工夫や努力について身近な問題として考えることができました。



あおし柿づくり体験

町内の小学校であおし柿づくり体験をしました。

まず、京築普及指導センターの土谷さんから町の特産品である川底柿について説明をしていただきました。続いて、川底柿を使ったあおし柿づくりを、柿の生産者である横山健一さん(東下)に教えていただきました。

子どもたちはあおし柿になる前と後の川底柿を食べ比べ、「なぜこんなに渋い柿がこんなに甘くなるの」と味の違いに驚いていました。

ビニール袋に川底柿とドライアイスを入れて空気を抜き、数日置くとおいしいあおし柿ができあがります。

町に昔からある川底柿のこについて知ることができ、貴重な体験授業となりました。



唐原小学校



友枝小学校



南吉富小学校



西吉富小学校

平成26年秋の叙勲

鶴田 忠良氏 旭日小綬章を受章

鶴田忠良氏は、新吉富村助役を3年8月、新吉富村長を10年6月、上毛町長を8年務められ、多年にわたり地方自治の発展に貢献されました。特に初代上毛町長として、旧2村の輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、上毛町総合計画に基づいた行財政改革、産業振興、少子高齢化対策の3つの重点施策の着実な実行に努められました。

平成25年11月12日に任期満了により上毛町長を退任後、これらの顕著な功績が評価され、旭日小綬章を受章されました。

鶴田氏は、「叙勲の榮譽については、思いもよらなかった事の上、宮中春秋の間で天皇陛下のお言葉をいただき感慨一入のものがありますが、これは町民皆様のご支援ご協力の賜物であり、まず全ての皆様に心から感謝とお礼を申し上げるべきと考えております。また、これからの人生、微力ではありますが可能な限り町発展のため役立てることができればと決意を新たにしているところであります。」と感謝の言葉を述べられました。



藤本 博太氏 旭日単光章を受章

元大平村・元上毛町議会議員 藤本博太氏(土佐井)が、旭日単光章を受章されました。平成4年4月より約15年(5期)の多年にわたり町の議会議員を歴任され、地方自治の発展に大きく貢献されました。

藤本氏は、今年88歳を迎えられ「住民の皆様の温かいご支援、ご指導の賜物であり、心より感謝いたします。」と述べられました。



竹下 武博氏 瑞宝単光章を受章

竹下武博氏は、昭和32年2月大平村消防団団員を拜命して以来、約40年の多年にわたり消防団員として活動し、平成7年4月から2年間、大平村消防団第3分団長として活躍されました。

この消防業務並びに消防団の振興発展に尽力された顕著な功績が評価され、瑞宝単光章を受章されました。

竹下氏は、「地区の皆様や消防団の諸先輩方のご協力のおかげで受章することができました。消防団の活動に携わった者にとって最高の榮譽です。今後ともOBとして、消防団の活動について微力ながら支援していきたいと思っております。」と感謝の言葉を述べられました。



第9回上毛町文化祭・文化公演会

11月1日(土)、2日(日)の2日間、げんきの杜では、第9回上毛町文化祭が盛大に開催されました。芸能ステージでは、文化協会会員、大平保育所児童及び唐原小学校児童など64組が日頃の活動の成果を披露し、観客から盛大な拍手が送られました。

作品展では、会員、保育所(園)、小中学校など37組から15部門の作品が出品され、げんきの杜全館を華やかに彩り、訪れた多くの方は文化芸術作品の世界を楽しんでいました。

2日午後には、小林明子さんによるコンサートが開催され、大ヒット曲『恋におちて〜Fall in Love〜』をはじめとした名曲の数々が美しい歌声とともに披露され、会場は感動に包まれていました。

町内の多くの皆さんにご来場いただき、この2日間、げんきの杜はこの年一番の盛り上がりとなりました。

